

●指導のポイント

学校教育目標

『美土里を想い 志高く 主体的に学び続ける生徒の育成』



めざす生徒像

- 主体的・意欲的に学び、自力解決できる生徒・・・「知」
- 感謝の心を持ち、夢に向け我慢強く努力する生徒・・・「徳」
- 自律的な生活をし、様々なことに挑戦する生徒・・・「体」



研究主題

「主体的に学び、表現する児童生徒の育成」
～「学び合う」道徳の授業づくりと評価を通して～



研究重点項目と本テーマとの関わり

◇「聴く・つなぐ・もどす」道徳授業をテーマにした研究

⇒ペアやグループを適宜活用し、お互いの意見を交流して「学び合う」授業を目指す。

⇒「**生徒が主体的に考えたい課題**」や「**自分ごととして考えられる課題**」を設定する。

★各学年で「情報モラル」に関わる教材を活用して授業を実施する。
★スマホやインターネットに関わるアンケートを実施し活用する。

⇒「主体的・対話的で深い学び」を実現させるために「**問い返し**」**発問**を工夫する。

- ①聴く：生徒の多様な考えや発言の根拠などをしっかりと聴き、中心発問へどう活かすか。
- ②つなぐ：生徒同士の考え（相違や共感等）をつなぐファシリテートをどのように行っていくか。
- ③もどす：多面的・多角的な価値観を基に、どのように考えを深めさせ、自分自身にもどさせるか。

★情報機器の使い方やトラブル等に関わる対処の仕方を学習するのではなく、問題の根底にある道徳的価値について考えを深める学習とする。

◇効果的な見取りと評価についての研究

⇒自分の意見を書く時間や振り返りを書く時間を確保する。

- ①見取りシートの作成・活用
- ②授業の実態とワークシートの記述等からの評価

◇道徳科と他の教育活動との効果的な関連を図る**カリキュラム・マネジメント**の研究

★道徳科とスマホ防犯教室等と関連させる。